

## 坂井農場長アドバイス

### 令和5年度 目指せ！おいしい福井県米！－第1回－

JA 福井県坂井営農経済センターには、120年を超える歴史を持つ「坂井農場」があります。坂井農場で栽培している水稲の生育について、由川農場長がアドバイスいたします。3回シリーズの1回目は田植え後の管理について紹介します。

1. 令和5年度の稲づくりについて
2. 4月、5月の気象状況
3. 県下各地域の現在の生育状況について
4. 今後の対策－水管理は稲の生育をコントロールする重要な作業－
5. 病害虫の発生状況と対策
6. 水田除草の対策で気を付けること
7. 畦畔雑草の対策で気を付けること
8. アオミドロ・表層剥離が多発！

#### 1. 令和5年度の稲づくりについて

5月8日から新型コロナウイルスへの対応が「5類感染症」に緩和されたことにより、ようやく日常に近い生活が送れるようになりました。一方ウクライナ情勢が長期化する中、世界的物資の流れも落ち着きを見せるようになりました。しかしながら昨年来の物価高騰を受け、様々な物の値上げが続いており、農業資材等についても更なる値上げが懸念されます。

こうした中、コメの価格も一部下げ止まり、明るい兆しが見えてきています。しかしながら昨年の福井米の評価を見ると、令和4年産米の日本穀物検定協会が実施する食味ランキングでは、唯一「いちほまれ」が特Aにカムバックしたものの、「コシヒカリ」、「ハナエチゼン」の品種はAランクとなり、コシヒカリは2年続けて残念な結果となりました。

特に近年の気象変化によるところの温暖化が、食味低下の大きな要因といわれています。今年も6月に台風が接近するなど、今後の異常気象によるイネの生育への影響が心配されます。こうしたことから気象変動に左右されることないコメ作りがますます重要で、夏場の水管理・秋の土づくり等に留意し、収量品質の向上を図りましょう。

#### 坂井農場の取り組み

坂井農場は1.2haの水田でいろんな試験を行っています。

- ① 福井県の主要品種(移植、直播)の生育が一目でわかります！
- ② 温暖化等に対応し、より効果的な肥料・農薬の試験をしています！
- ③ 省力・低コスト栽培技術として、直播栽培確立試験をしています！
- ④ 新たに肥料のプラスチック問題に対応した、環境にやさしい肥料試験をしています！

皆様ぜひとも坂井農場にお立ち寄りください。

#### 2. 4月、5月の気象状況【福井気象台】

- 4月 ……天気は周期的に変化し、上旬から中旬は、暖かい空気に覆われやすく、また南からの暖かい空気の流れ込んだ影響で20日はすべての地点で夏日となりました。寒気の影響で、気温の低い日もあり気温の変動が大きい月となりました。平均気温は、すべての地点で平年より高くなり、降水量は平年並みより多くなりました。日照時間も平年並みより多くなりました。
- 5月上旬 ……高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、期間の中頃は前線や低気圧の影響により大雨となった日がありました。平均気温は春江、勝山、大野、今庄で平年より低く、その他の地点では平年並みとなりました。降水量は平年よりかなり多くなりました。日照時間は、平年より多くなりました。
- 5月中旬 ……高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、低気圧等の影響で曇りや雨となった日もありました。平均気温は、全ての地点で平年より高くなりました。降水量は、平年並みから平年より少なくなりました。日照時間は、三国、福井、越廼で平年並みとなり、その他の地点では平年より多くなりました。

○5月下旬……天気は周期的に変わり、高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、湿った空気や前線の影響で曇りや雨となった日もあり、29日は奥越を中心に大雨となりました。平均気温は、一部を除き平年並みとなりました。降水量は平年より多い～かなり多く、日照時間は平年並みと中旬に比べ少なくなりました。

### 3. 県下各地域の現在の生育状況について

5月上旬から中旬の気温や日射量は良好で、水稻の生育は平年並みとなっています。また直播においても出芽・苗立ちが良好となっています。ただ6月に入り茎数増加が緩慢で、ほとんどの品種で平年より茎数が少なくなっています。圃場により生育量は異なりますが、浅水管理で茎数確保を促しましょう。

#### ○県下各地域の生育調査結果(令和5年6月7日)

##### ■農業試験場

ハナエチゼン(5/2)、コシヒカリ(5/18)、あきさかり(5/2)

区分	草丈(cm)	平年	茎数(/m <sup>2</sup> )	平年	葉齢	平年	葉色	平年
ハナ	29.6	29.8	333	466	8.0	8.2	4.5	4.8
コシ	26.3	26.3	179	227	5.9	6.2	4.1	4.3
あき	31.7	30.0	322	399	7.9	7.9	4.0	4.0

##### ■坂井農場

ハナエチゼン(5/1)、コシヒカリ(5/15)、直播(5/8)、あきさかり(5/15)

区分	草丈(cm)	平年	茎数(/m <sup>2</sup> )	平年	葉齢	平年	葉色	平年
ハナ	30.4	30.4	382	362	8.2	7.8	4.7	5.2
コシ	29.5	28.2	129	185	6.4	5.8	4.1	4.3
直播コシ	25.3	23.8	106	204	5.6	5.1	4.3	4.1
あき	23.4	23.2	182	159	6.3	5.3	4.8	4.1

##### ■県下の現地圃場平均

ハナエチゼン(4/25)、コシヒカリ(5/15)、直播(-)、あきさかり(-)

区分	草丈(cm)	平年	茎数(/m <sup>2</sup> )	平年	葉齢	平年	葉色	平年
ハナ	32.9	29.0	293	338	7.8	7.7	4.3	4.7
コシ	29.3	27.8	135	189	5.3	6.0	4.0	4.1
直播コシ	23.7	24.4	159	269	5.0	5.6	4.0	4.4
あき	27.6	27.4	138	226	4.9	6.9	4.4	4.6

### 4. 今後の対策—水管理は稲の生育をコントロールする重要な作業—

・目標茎数を確保するまで、浅水管理をしましょう！

品種	今後の管理
コシヒカリ	目標茎数(350～380本/m <sup>2</sup> )を確保するまで水深2～3cmの浅水管理。移植のあきさかりも同様。
直播コシヒカリ	水深2～3cmの浅水管理で分けつを促進する。直播栽培は移植に比べ、葉齢が小さく草丈も小さいうちに分けつが増加します。目標茎数300本/m <sup>2</sup> 。
ハナエチゼン・あきさかり等	ハナエチゼンは分けつ期に入り葉色もやや濃い。浅水管理に留意し早期に茎を確保する。目標茎数ハナ400本/m <sup>2</sup> あき420本/m <sup>2</sup> 。

・溝切・中干しの実施しましょう！

目標茎数(20本程度)確保したら、田干し・溝切を行いましょ。その後中干しを行いますが、土壌のヒビの程度を見て、圃場に応じた通水を行いましょ。

## 5. 病害虫の発生状況と対策

「雪の多い年は虫が少ない」と昔から言われていますが、一概には言えないようです。坂井農場でも5月に入りニカメイチュウの飛来が見られています。前年発生が多かったところや、箱剤を施用していないところは特に注意が必要です。

### ・畦畔草刈り実践デー

年々カメムシが多くなり被害が懸念されます。地域ぐるみの草刈りでカメムシの生息場所を減らしましょう。

1回目 6月17日(土)・18日(日)

2回目 7月1日(土)・2日(日)

病害虫	発生状況等
葉いもち	平年並み、前年より多い。補植用の置き苗は早めに除去し、土中に埋没すること。
ニカメイチュウ	越冬成虫の発生は、平年に比べ早く、平年より少く、前年並み。
イネミズゾウムシ	発生状況は、平年よりやや少なく、前年よりやや少ない。

坂井農場でのニカメイチュウ誘殺状況(5/19から調査開始)

調査日	5/19～24	5/25～31	6/1～7
捕殺数	26	21	10

※今年はニカメイチュウの発生が早まっていますが、捕殺数は平年に比べ少なくなっています。



## 6. 水田除草の対策で気を付けること

- ・除草剤の効果を高めるため、漏水がないよう点検を行います。
- ・使用前に必ずラベルに記載してある「適用雑草と使用方法」等を確認し、ノビエ3葉期までとあつたら2葉期ごろに散布するとより効果が期待できます。
- ・散布にあたっては、よく除草剤が拡散するよう5～6cm程度の湛水状態に保ち田面を露出させないこと。散布後、7日間は落水やかけ流しはせず、この間やむをえず自然落水により田面が露出した場合は、ゆるりと入水を行いましょう。
- ・水持ちの悪い水田は手間がかかりますが、粒剤を施用することで効果が安定します。
- ・止むを得ず雑草の取りこぼしがある場合は、雑草の種類に合わせ中期除草剤や後期除草剤の散布を行いましょう。

薬剤の種類により、水管理(湛水散布、落水散布)が異なるので、使用基準をよく読み厳守してください。

※雑草に応じた対象除草剤については、JA各支店へお問い合わせください。または県農作物病虫害防除指針をご参照ください。



坂井農場で行っている除草剤試験です。枠の中は除草剤無施用区になっており雑草が多くみられます。除草剤を施用した周りと比較すると一目瞭然です。

## 7. 畦畔雑草の対策で気を付けること

除草剤は3つのタイプに区分されます。

区分	主な除草剤
土壌処理剤	カソロン等
茎葉処理剤	プリグロックスL、ラウンドアップ、ザクサ、バスタ等
茎葉兼土壌処理剤	カーメックス等

### ○ここに気を付けよう！

- 土壌処理剤は、土壌が適度に湿っている時に効果が高くなります。
- 茎葉処理剤は、雨の直前には散布しないようにしましょう。
- 除草剤の散布時期は、降雨がないことが大前提ですが、「プリグロックス L」は、光合成を利用して雑草を枯らすので、夕方よりも早朝散布することがより効果的です。また、早朝時は、朝露により適度な湿り気があるので、より効果が高いです。逆に午後は蒸散が盛んになりますから、除草剤の吸収が低下する恐れがあります。

## 8. アオミドロ・表層剥離が多発！

毎年、アオミドロ等の緑藻類が多く発生する水田が見られます。特に今年のように好天で気温の高い日が続くと、どの圃場でも少なからず発生を見ます。多く発生すると苗のなぎ倒しや水温の低下など生育抑制、除草剤効果も懸念されます。効果的な対策を行いましょう。

### 多発生の要因

- ①地力が高い……土中の有機物やN、Pが多い場合。
- ②水温が生育に適している……水温が10度を超えると増加、25度でピーク！
- ③日射量が多いと光合成が増加し発生大。

### 対策

- ① 深水にしないで、浅水管理とする。
- ② 軽い田干しを行う。また落水、入水で新鮮な水を入れる。
- ③ 藻類に効果のある農薬を散布する(モゲトンなど)。



坂井農場でも藻が発生しました(左写真)。その後、こまめな管理により、現在は改善されています。